

博物館だより

2022年 春号

The Museum Letter

葛飾区郷土と天文の博物館

Katsushika City Museum

Contents

No.

132

プラネタリウム番組

星の夜間学級

～世界の星空～

令和4年3月16日から上映の新番組は「星の夜間学級」。
今夜の星空解説とともに、星の基礎を解説するシリーズです。

今回は、世界のいろいろな場所から見た星空の違いを紹介します。
星のことがわかったら、プラネタリウムの映像を
もっと楽しめるようになるかも知れません。
ぜひご覧ください。

詳しくは
現在上映中の番組
をご覧ください。



博物館でかつしかを体験しよう!

コロナ禍においても感染対策を行い、
実施してきたさまざまな体験事業をご紹介します。



かつしかトピック

Topics
002

郷土かつしかの歴史や民俗、
文化財にまつわる話を
不定期でお届けする
コーナーです。

第2話のお題は
「花見」!



博物館でかつしかを体験しよう！

葛飾区郷土と天文の博物館では、博物館だからこそ学ぶことができる様々な体験学習事業を展開しています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策を行い、体験活動を再開しました。今回は、令和2・3年度に開催した体験事業を振り返りご紹介しします。今後も博物館で開催する予定ですので、ご興味のある方は「広報かつしか」や「博物館ウェブサイト」をチェックしてぜひご参加ください。

令和5年2月募集 対象：小中学生と保護者

かつての葛飾区のような自然環境が残る茨城県つくばみらい市の農村で農家体験！

田んぼジュニア

講師：NPO法人古瀬の自然と文化を守る会

活動場所であるつくばみらい市寺畑地区は、葛飾区と同様に2つの大きな河川に挟まれた低湿地帯です。田んぼジュニアでは1年間を通じて、農業について学ぶだけではなく、実際の体験を通じて農村の感覚や雰囲気を楽しむことが醍醐味です。舞台となるつくばみらい市には、ありのままの農村が残るため、葛飾区が農村であった時代を体感することができます。

収穫したお米を昔の農具を使って「脱穀」「もみすり」「選別」体験を行います。



「キツルス」というもみすりです。

どうがらしを収穫し保存するためにワラ編みを学びました。



さつまいも掘りでは、持ち帰れないほどたくさん収穫しました！



生きているカモをさばって命の「ありがたみ」や「食べものへの感謝」を学びます。

主な年間予定

- 4月 種まき・たけのこほり
- 5月 田植え
- 9月 稲刈り
- 10月 炊飯体験・いもほり
- 12月 大根収穫・命をいただく体験

「トウミ」(右)や「ミ」(左)を使って選別体験

令和4年4月10日締切 対象：小中学生と保護者

博物館前の田んぼで稲作をしよう！

米づくり体験教室

講師：博物館農業ボランティア 田んぼサポーター

郷土と天文の博物館前の曳舟川親水公園内にある田んぼをフィールドとし、葛飾区で江戸時代から栽培されていた稲「タロベエモチ」を育てます。栽培を通じて、かつて存在した葛飾区の農村環境や民俗行事を体験します。米づくり体験教室では、「田植え」「草取り」「稲刈り」といった米作りはもちろん、「かかしづくり」「あぜ豆づくり」「ザリガニ釣り」「鏡餅作り」など、博物館前の田んぼをフィールドにしたイベントが盛りだくさん！



あぜ豆の収穫体験。



低湿地である葛飾区のかつめの田んぼと同様に、泥の中での稲刈り体験をします。



体験の前には講義もあります！葛飾における農業や人々の生活を、くわしく知った上で体験を通して学ぶことができます。



かかしを自分好みにカスタマイズ！毎年ユニークなかかしができていきます。



主な年間予定

- 4月 種まき(苗づくり)
- 5月 田植え
- 6月 草取り・あぜ豆の種まき
- 7月 あぜ豆の植えかえ・ザリガニ釣り
- 8月 かかしづくり・米の花見
- 9月 稲刈り
- 10月 田んぼの生き物観察
- 11月 あぜ豆の収穫(脱穀)
- 12月 かつしかの正月準備体験(しめ飾りづくり・鏡餅づくり)

令和4年6月下旬募集 対象：小学5・6年生、中学生

紙製の望遠鏡を工作し、使い方を学べる！ 望遠鏡をつくろう

お家に帰ってからひとりでも天体観察ができるように、望遠鏡の使い方をしっかり練習します。望遠鏡の仕組みや観察の方法もみんなで学びます。



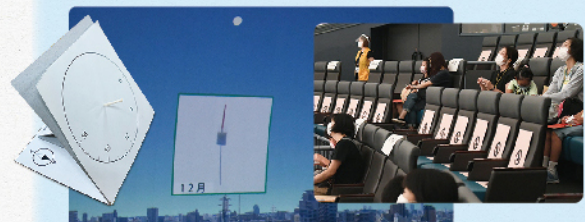
工作するのは紙製の望遠鏡で、レンズの大きさは4センチです。月や惑星、一等星を観察することができます。

※三脚は含まれません

令和4年6月・11月・2月頃募集 対象：小学3～6年生

星や宇宙の不思議や楽しさを体験！ 星の学校

小学校の夏休み・冬休み・春休みに星や宇宙が好きな仲間と一緒に博物館で講義や工作、観察を通して毎回異なるテーマで学びます。



令和3年度夏休みには、日時計を作ったり太陽の高さが1年を通して変化していることをプラネタリウムを使って学びました。



令和3年度冬休みには、星座早見を使って冬の一等星の見つけ方を学びました。

令和4年6月下旬募集 対象：どなたでも

セルロイド人形染付体験教室

講師：平井英一さん

プラスチックが開発される前の昭和30年前後、葛飾区はセルロイド人形の一大生産地でした。日本で唯一のセルロイド玩具職人平井英一さんに染付手法を学び体験します。

平井英一さんの作品「ミーコちゃん」

染付体験を行う前に葛飾区のセルロイド玩具産業の歴史を学び、「おもちゃのまちかつしか」と呼ばれるかみつきにせまります。



人形の生地にアクリル絵具で着色して自分だけのセルロイド人形を作ります。

令和4年5月・6月下旬募集 対象：どなたでも

葛飾区に伝わる昔話や戦争の体験などを学べる！ 紙芝居大会

講師：葛飾昔話研究会

昔は、葛飾区内のあちこちで見ることができた紙芝居。幼児から高齢者まで上演を見ながら楽しく学びます。



「いばられ地蔵」や「小菅の大蛇」など葛飾区内に伝わる昔話も登場。



大型紙芝居「コスモスの花はさいたけど」は、昭和20年(1945)2月の葛飾区細田地区の空襲による悲劇をテーマに、当時の子どもたちの様子を描いたお話です。

8月の紙芝居大会は戦争をテーマにした紙芝居の上演を行います。

令和4年5月・6月下旬・9月・11月募集 対象：どなたでも

葛飾の子どもたちが身近に接してきた遊びを体験！ 竹とんぼづくり

講師：かつしかアクティブ.com

竹とんぼ教室では、ただ組み立てるだけじゃない自分オリジナルの竹とんぼを作ることができます。



未就学の参加者でも楽しめる「ガリガリプロペラ」作りも体験できます。



遠くまで飛ばせるかな？

1つ1つの工程も丁寧にサポートしながら教えてくれるので安心です。

花見

春の野山に爛漫と咲き誇るソメイヨシノは、華やかさと散り際のもの悲しさをあわせもった、日本人に古くから愛された花です。さくらの「さ」は穀霊を示す古語であるとされています。稲の種をまくころに咲く花を「さくら」、田植えに従事する女性を「さおとめ」、田植え終了後のお祭りを「さなぶり」という言葉にその心意が残っています。

花見という催しも、本来はこれから始まる稲作の仕事を前に、桜の花を愛でることによって豊作を祈願するという意味がありました。

江戸川土手は桜の名所として知られていました。金町、葛西神社付近から柴又にかけて堤防上に桜の木が立ち並び、花見の季節には東京中から多くの人が集まりました。この桜は明治37年(1904)、金町の宇田川安右衛門ほか10名によって約2千本の桜が植樹されたことが始まりでした。のちに江戸川風致協会によって山桜3百本が補植され、昭和12年(1937)には述べ133万人余りの花見客たちでにぎわったという記録が残っています。

柴又の農家の人たちはこの花見客に席を貸したり、ゆで卵を販売したりして、春のうれしい副収入としたといわれています。昭和40年ころまで、江戸川土手では盛大な花見が続けられ、仮装行列を楽しんだり、人気者の芸能人なども出演する舞台が設けられるなど東京の一大名所として知られていました。

昭和26年(1951)に佐々木源三郎氏によって作詞された「葛飾区歌」の冒頭にも「桜花咲く江戸川の水に心を映しつつ」とありますが、戦後の復興期から高度経済成長期にかけて、葛飾区はまさに桜の花びらがあふれる町でした。



写真：当館所蔵

江戸川土手に咲く桜のもとに集まったたくさんのお花見客たち。
昭和26年(1951)撮影。



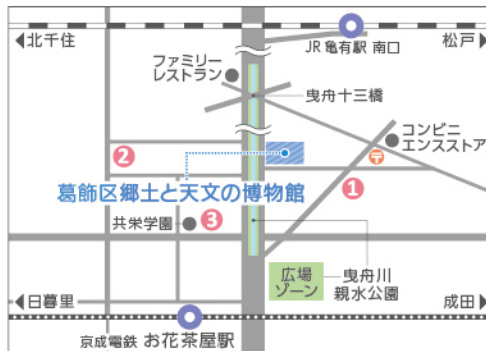
博物館前の親水公園の桜

桜の花
散り散りにしも
遠き一人と
別れゆく
君もなりなん
秋超空

ご利用案内・アクセス

開館時間	午前9時～午後5時 (金・土曜日は午後9時まで開館。ただし金・土曜日が祝日の場合、午後5時に閉館。入館は閉館の30分前まで)
休館日	月曜日、第2・4火曜日 (月曜祝日は開館。火曜祝日は開館し翌平日休館)
入館料	大人 100円 小・中学生 50円 幼児無料 (毎週土曜日は中学生以下無料。)
プラネタリウム観覧料	大人 350円 小・中学生 100円 幼児(座席を使う場合) 50円 (毎週土曜日は中学生以下無料。)
年間パスポート	大人 2,000円 中学生以下 700円 購入から1年間、入館料とプラネタリウム観覧料が不要になります。購入時にご希望があれば、「博物館だより」(年3回発行)を1年間お送りします。

この印刷物は、印刷用の紙にリサイクルできます。



〒125-0063

東京都葛飾区白鳥3-25-1

電話 03-3838-1101 FAX 03-5680-0849

WEBサイト <https://www.museum.city.katsushika.lg.jp/>

- 電車** 京成電鉄「お花茶屋」駅から徒歩8分
JR常磐線「亀有」駅から徒歩25分
- バス** ① レインボーかつしか(有71・72・74系統)
又は京成タウンバス(有70系統)で
「白鳥わかば公園」バス停下車 徒歩3分
有71・72 ウェルビアカツシカ～お花茶屋駅～亀有駅南口
有74 ウェルビアカツシカ～亀有駅南口～新富町
有70 金町駅南口～亀有駅南口～
ウェルビアカツシカ又はタウンバス車庫
- ② 京成タウンバス(有57系統)で
「上千葉小学校」バス停下車 徒歩5分
- ③ 京成タウンバス(有57・綾02系統)で
「共栄学園」バス停下車 徒歩5分
有57 亀有駅南口～お花茶屋駅～葛飾区役所又はタウンバス車庫
綾02 タウンバス車庫～葛飾区役所～綾瀬駅

！ 来館にあたって

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、マスクの着用や入館時の検温などにご協力いただくとともに、入場制限を行う場合があります。また、感染状況により、ご利用方法などが通常と異なり事前予約が必要な場合があります。必ず事前にウェブサイトでご確認ください。

